

第8回 白川静漢字教育賞 一般の部 最優秀賞

子どもの主体を起こす読み優先の漢字教育

子どもの主体を起こす読み優先の漢字教育研究会共同代表

上野 芳樹 氏

<概要>

全くひらがなを理解できなかった長男に漢字の読みから入る指導を行うことで教育漢字すべてを習得させることができたという臨床の理士井上知子氏の子育て体験が本実践研究の出発点である。学習に支障のある子どもたちをきめ、全ての子どもたちが学びやすい漢字学習は、「読み」「意味理解」の確立の上に「書き」の指導を行うこと。また、漢字を家庭生活で学ばせるようになるためには、単漢字だけでなく一定長さの文章単位で学ばせることが重要であると考え、独自の教材を開発し、学校現場での実証研究を進めてきた。

「漢字音読名人」は、子どもたちが夢中になって聞き合う姿がどの教室でも見られ、その対等な関わり合いを重ねる中で子ども同士の関係が固められていくという報告を多くの担任から得た。

白川博士の学説による漢字の成り立ちや音訓例・筆順をコンパクトにまとめた「一日一漢字」も、子どもたちの漢字に対する興味関心を高め、楽しく漢字を学べる教材となっていることが、子どもへのアンケート結果から明らかである。

更に、読み・意味理解の学習を先行させながら実践的な書き練習を進める教材として「漢字書き名人」を開発し、これら一連の教材をトータルに使用して指導した学校では、驚異的な漢字習得の成果を挙げつつある。

もともと漢字の実証研究として行っていた、我がが開発した教材による読み優先の漢字学習は誰もが学びやすいユニバーサルデザイン教育の典型であり、また、子どもの主体を起こす時間との協働を豊かに育む「教育」そのものであることを確信するに至っている。

<講評>

今回特別奨励賞を受賞された井上知子氏の「読み優先」の漢字指導体験を核に、どの子どもも漢字を理解させるために、段階を追って漢字を学ばせる「漢字音読名人」や「漢字書き名人」など様々な工夫をしながら、学校全体、地域の小学校を巻き込みながら何年もかけて継続的に広げられた。そのスケールの大きな実践の厚みが高い評価を得た。

子どもの主体が起き、どの子どもも無理なく習得できる読み優先の漢字学習

小学校1年生「漢字」が全く理解できなかった長男

「漢字音読名人」を開発

- 1. 漢字の音読練習に重点
- 2. 1日1新漢字(音)を覚える

小学校3年生まで教育漢字を全て習得した

長男のような子ぎの難かった漢字は1分半でマスター

漢字を読むのは、ひらがなを読むより楽しい!

漢字の形と、それを表すものが「映像」で覚えられる

漢字は「英語文字」目で覚える言葉

漢字が読める

文が読める

情報を取り込める

漢字の「読み」の習得はすべての学習を支える必須の基礎学力

①「漢字音読名人」で楽しく漢字を読もう

教材「漢字音読名人」(1冊)

漢字の成り立ち・音訓・筆順

漢字の読み方

漢字の書き方

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

「漢字音読名人」開いた子どもたちの様子

漢字音読名人、教師アンケート結果

漢字音読名人を学んでみてどうでしたか?

2024年10月17日(木)作成

- 1. 「楽しい」と大人も褒める・進捗がある
- 2. 「難しい」と大人も褒める・進捗がある

漢字が読めて、いかに学習意欲が上がるかを漢字音読名人が証明している。漢字が読めると、読めるようになる。漢字が読めると、読めるようになる。漢字が読めると、読めるようになる。

②「一日一漢字」で漢字を楽しく学ぼう

教材「一日一漢字」

漢字の形と意味

漢字の読み方

漢字の書き方

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

【パワーポイント教材の一例】

漢字の読み方

漢字の書き方

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

③「漢字書き名人」で楽しく書き練習をしよう

教材「漢字書き名人」

漢字の成り立ち・音訓・筆順

漢字の読み方

漢字の書き方

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

読み優先の漢字学習 実践事例

1年間の取組の成果

漢字の読み方

漢字の書き方

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

ネットに教材の一部を公開

漢字音読名人

一日一漢字

漢字書き名人

漢字の読み方

漢字の書き方

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

漢字の音読み

漢字の訓読み

漢字の部首

漢字の筆順

第8回 白川静漢字教育賞 一般の部 優秀賞

「漢字を学び書字するって楽しい!」をめざして

福井市越前小学校教頭
袁輪 潤子 氏

＜概要＞

これまでの自身の取組から白川文字学を活用して漢字を学ぶことは、児童の知的好奇心をくすぐり探究心をもちまかせることができ、本県が推進する「楽しむ教育」の一つとして合致すると考える。勤務校において、全学年の書写を担当することとなったことを機に、授業の中で無理なく継続的に白川文字学を活用しながら漢字を学習する場を模索するとともに、児童が意欲的に漢字の成り立ちを学習し、漢字や古代文字に興味をもつ、そして書字することにも興味をもち意欲的に「楽しみながら」学習しようとする授業を実践した。

この経験が、児童の長い生涯学習の一助、きっかけとなってくれると嬉しい。

＜講評＞

書写の授業と漢字の成り立ちを巧みにコラボさせながら、児童が生か生きと楽しんで学習している姿が目につく。日々の何気ない授業の中にキラッと光る実践であり、自然体の中に質の高さを感じられる実践として高く評価された。第2回の優秀賞受賞者だが、さらに新しい可能性に挑戦されている姿に大いに励まされ、力を得た。

○ 実践概要

「小学教科書における漢字学習課題一覧（資料図表）」の作成

全学年を通して、系統的にまた見直しをもって指導するために「小学校国語における漢字学習課題一覧（資料図表）」を作成した。それをもとに、白川文字学を活用して漢字の成り立ちを系統的に学ぶことができる図説本（図表著作データ）を教材として用い、全学年で、教科書で扱われている漢字や自分の名前漢字の意味や成り立ち等を学習した。



教科書のこの学習は、「白川静博士に学ぶ楽しい漢字学習」の題材を用いて学習することができます。

「小学教科書における漢字の成り立ちの学習」

使用している教科書の漢字の教科書では、全学年共通して「漢字図かん」で漢字について扱っている。そこで学年ごと以下のように取り組んだ。
 1. 2年生においては、水筆を用いた画の書き方に注意しながら書字した。水筆で書字する経験と水書シートに書いた文字が時間と共に消えていくことに興味を示し楽しみながら学習を進めることができた。その後、成り立ちの学習した漢字の古代文字を筆を削いで書字した。
 3年生では、「上、下」の部首文字、4年生は「右、左」の会意文字を学習する。「日」は、白川文字学の特徴でもある「日（イ）」を含む漢字であるので、また2学年末に「イ」の意味を確認。その際、図説本ワーク「3年」名前をつけられて初めてとなる。5年生では会意文字、6年生では同じく「日」ここでは「日（イ）」は同じもの（ここでは「日」）に関連していることを学んだ。



通称土の小片をつくって、ドクドクもみながら押印。

「漢字一ナー」の認識

漢字に興味をもてるように、校内に漢字の掲示コーナーを設置。各部や行事に関する漢字を白川文字学を活用して古代文字と共に紹介している。



一介組2年
 今年の漢字「節」を、
 男勝の考える今年の漢字
 とし「節」



7月 みんなの願いとともに、「夏」の漢字を飾り。



2月 縁起物にちなむ「福」の漢字を飾り。

第8回 白川静漢字教育賞 一般の部 優秀賞

一僕だって私だってアプリがあれば漢字が覚えられるよー

佐賀県立盲学校講師
福田 由美子 氏

＜概要＞

文字を書いたことがない、自分の名前も書いたことがない重度の知的障害の生徒が入学してきた。手だてで工夫してのりがが書けるようになったが漢字も書けるようになり漢字アプリを作成した。読書な効果が出たので書字困難な生徒にも役に立つと考えた。作成に当たり配慮したこと、①発達障害の生徒には視覚優位の生徒も多い。紙面の場合、書き順をビジュアルで見たい。情報過多として順序でとらえにくい。一画一画書き順に従って線が出てくることで、情報はそのままに一つ一つ、集中できる。②偏や旁を赤色で作成することで、偏や旁に対する意識が高くなり、記憶にもなる。③漢字の要素を同じ色で示すことで、意味のまとまりとして、合成画像が脳裏に作成される。④既習の文字は、すでに記憶したものであるから、黒色にすることで画像を単純化する。⑤漢字の色別の要素を口頭しながら見せることで、書く時にも口頭して書き、記憶に残りやすい。(漢字アプリ作成に当たって、マイクロソフト社の書き順アプリを活用させていただいた)

アプリを使って指導した結果、重度の知的障害の生徒は、文字をもつことで指導の内容がわかり自らの才能が開花。佐賀県高校生プログラミングコンクールで賞を受賞した。読めるけれど書けなかった学習ソフトウェア(書字障害)の生徒は、他教科の成績も上がり、自己肯定感が生まれた。少年の主張佐賀県大会で10歳に選ばれた。

＜講評＞

第2回に特別奨励賞を受賞されているが、今回「書字障害」や「知的障害」の児童生徒に自作の漢字アプリを使って取り組まれた実践が子どもたちに生きる自信や希望を持たせる上でも大きな意義を持つ実践だと高く評価された。

書字困難児への漢字指導

漢字アプリの作成

2021.11.27
 佐賀県立盲学校 講師 福田由美子

はじめに

2018年4月～2021年12月まで、アパレル店一職員の生徒の指導と指導の経験から、読めるけれど書けなかった学習ソフトウェア(書字障害)の生徒に、他教科の成績も上がり、自己肯定感が生まれた。少年の主張佐賀県大会で10歳に選ばれた。

アプリを作った理由

正しい漢字を、平易に、興味を持って、集中を持続させながら学習させるためには、アニメーションで出せる方が効果がある。
 動きがあると飽かさない。知的障害や多動があっても、動きがあるものはいいように見つかる。
 生徒個人用のタブレットと電子黒板が設置され、利用できるようになった。
 そこで

配慮したこと

偏や旁は自立3つに赤色で
 背景色は黄色で
 要素別に色を区別

配慮したこと

意図的にへんや旁を赤色で、偏は黒に 偏 → 横 → 縦 → 意図的に色を区別して学習する
 すでに既習の漢字は黒色で

実際の指導 1

作成途中で、電子黒板で漢字の成り立ちを説明する
 2018年10月、小学1年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

実際の指導 2

2019年4月、小学2年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

実際の指導 3

2020年4月、小学3年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

実際の指導 4

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

実際の指導 4-1

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

実際の指導 4-2

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

実際の指導 4-3

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

実際の指導 4-4

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

実際の指導 4-5

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

指導の実際 4-6

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

指導の実際 4-7

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

指導の実際 4-8

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

指導の実際 4-9

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

指導の実際 4-10

2021年4月、小学4年生担任から相談
 「この子が漢字が書けないから、漢字の成り立ちを教わってほしい」という声を受けて、漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。
 ……漢字の成り立ちを教えることになった。

なぜ覚えるようになったのか、生徒の感想から

①色分けされていたので、部品(要素)ごとに頭に入ってきて、覚えやすかった。
 ②順に一面一画線が出てきたので、書き順がよくなった。
 ③紙ではモノクロだったから、一気に3つと出て

文章を基礎に置いた読み優先の漢字教育

大津少年センター・思春期相談員

井上 知子 氏

<概要>

長男が小学校一年生入学後、平仮名は「書けるけれども読めない」とが判明... 漢字を教えるの目的は、これ以上進んでいくには漢字を教えるしかない... 読みの優先を重視した漢字教育の取り組みについて述べている。

<講評>

発達障害を持つ児童に効果的な家庭での漢字教育の貴重な実践記録である... 読みの優先を重視した漢字教育の取り組みについて述べている。

大津市で実践した 読み優先の漢字教育 実践 (原簿)

(1) 動機

【動機】長男が小学校一年生入学後、平仮名は「書けるけれども読めない」とが判明... 漢字を教えるの目的は、これ以上進んでいくには漢字を教えるしかない... 読みの優先を重視した漢字教育の取り組みについて述べている。

(2) 実践における実践の漢字教育のやり方

基本：毎日15分だけ。字で遊ぶ。子どものペースで進む。遊びの心でおこなう。... 実践の具体的な方法や工夫について述べている。

(3) コミュニケーションと、この漢字教育の電機するもの

子どもと保護者の関係、子どもと先生との関係... コミュニケーションの重要性について述べている。

(4) 実践の成果

読みの優先を重視した漢字教育の成果... 子どもの漢字学習の進捗や読みの向上について述べている。

(2) 実践における実践の漢字教育のやり方

基本：毎日15分だけ。字で遊ぶ。子どものペースで進む。遊びの心でおこなう。... 実践の具体的な方法や工夫について述べている。

(3) コミュニケーションと、この漢字教育の電機するもの

子どもと保護者の関係、子どもと先生との関係... コミュニケーションの重要性について述べている。

(4) 実践の成果

読みの優先を重視した漢字教育の成果... 子どもの漢字学習の進捗や読みの向上について述べている。

漢字の魅力伝えるための授業づくり

鯖江市鯖江中学校教諭

真弓 恵子 氏

<概要>

新学習指導要領の文言が、「指導する」から「理解し使うこと」へと変わり、生徒たちが今後の生活の中で、自ら考え効果的に表現できるようになるまで、指導することが求められるようになった。... 漢字の魅力伝えるための授業づくりについて述べている。

<講評>

「筆ペン」を手軽に武器に、「筆ペン読書会」や自作の俳句を色紙にかせる授業実践等を通して、筆ペンを学校文化にまで高めようとする意気込みが伝わった。... 漢字の魅力伝えるための授業づくりについて述べている。

漢字の奥深さ・大切さを感じられる授業を目指して

漢字の奥深さ・大切さを感じられる授業を目指して... 全教出版が「筆ペン読書会」や自作の俳句を色紙にかせる授業実践等を通して、筆ペンを学校文化にまで高めようとする意気込みが伝わった。... 漢字の魅力伝えるための授業づくりについて述べている。

漢字の奥深さ・大切さを感じられる授業を目指して... 全教出版が「筆ペン読書会」や自作の俳句を色紙にかせる授業実践等を通して、筆ペンを学校文化にまで高めようとする意気込みが伝わった。... 漢字の魅力伝えるための授業づくりについて述べている。